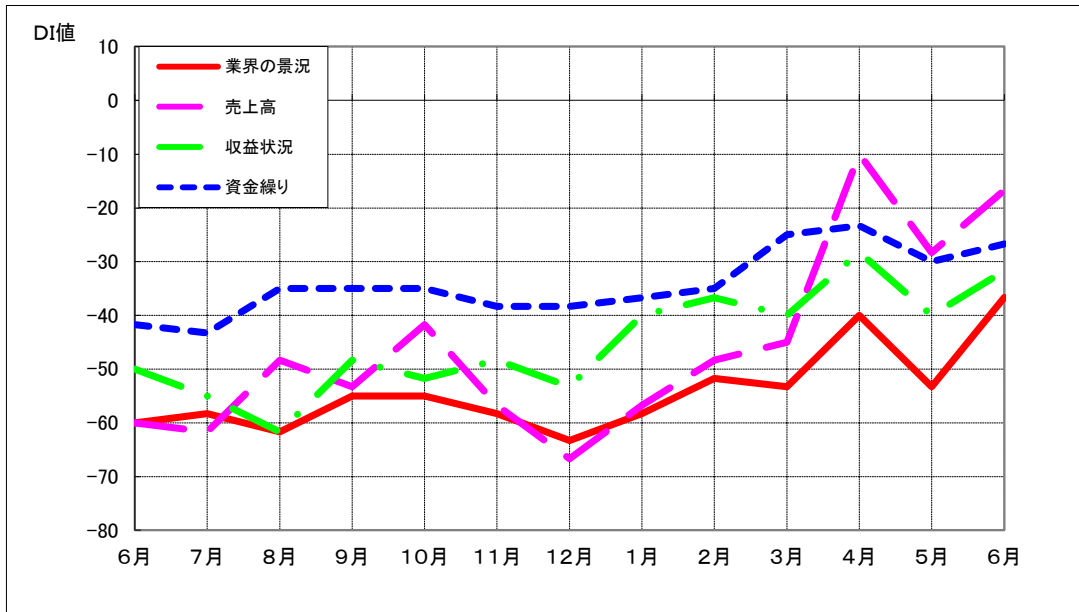


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和2年6月～令和3年6月

単位:ポイント



	R2						R3						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
業界の景況	-60.0	-58.3	-61.7	-55.0	-55.0	-58.3	-63.3	-58.3	-51.7	-53.3	-40.0	-53.3	-36.7
売上高	-60.0	-61.7	-48.3	-53.3	-41.7	-56.7	-66.7	-56.7	-48.3	-45.0	-10.0	-28.3	-16.7
収益状況	-50.0	-55.0	-61.7	-48.3	-51.7	-48.3	-53.3	-40.0	-36.7	-40.0	-28.3	-40.0	-31.7
資金繰り	-41.7	-43.3	-35.0	-35.0	-35.0	-38.3	-38.3	-36.7	-35.0	-25.0	-23.3	-30.0	-26.7

6月のDI値は前月と比べ、全項目で改善した。「業界の景況」DI値は16.6ポイント、「売上高」DI値は11.6ポイント、「収益状況」DI値は8.3ポイント、「資金繰り」DI値は3.3ポイントそれぞれ改善した。

前年同月比においては4ヶ月連続で全項目改善し、「売上高」DI値は43.3ポイント、「業界の景況」DI値は23.3ポイント、「収益状況」DI値は18.3ポイント、「資金繰り」DI値は15.0ポイントそれぞれ改善となった。

連絡員からは業種を問わず新型コロナウイルスの影響が報告されている。

製造業においては、多くの業界から原材料及び資材の値上がりの報告が見受けられる。特に木材・鋼材・金属においては大幅かつ急激な値上がりのため、対応に苦慮している。また、一部では材料調達の遅れや品不足の問題が発生し、工事や納期の延期等の影響が出ている。原材料等の値上げの影響が、企業の収益性を悪化させ、売上回復への更なる障害になっている。一方で、家庭用食品やアウトドア用品等の需要は増加しており、売上も順調に推移している。

非製造業では、依然として県内では「警報」が発令されていた影響もあり、人が街や店に戻っていないとの意見が多く見受けられた。そのためサービス業、小売業などの対面での販売を行う業種では引き続き厳しい状況が続いている。商店街やタクシー業界においては、特に夜間の人の減少が大きく、売上減少の要因になっている。

前年同月と比較すると回復はしてきているが、昨年の同月が特に新型コロナウイルスの影響を受けていた時期であるため、各業界としてはまだまだ厳しい状況が続いていると思われる。

経済回復のためには、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、人の移動及び行動の制限が解除されることが必要なため、政府の迅速なワクチン接種の対応に期待を寄せる声が多くあった。

組合からの特記事項としては、製材業や木造建築工事業においてウッドショックにより、木材価格の高騰や工事の延期などが報告されている。また、鋼材、金属等においても同様の報告がされている。多くの業界で使用される原材料だけに今後の影響が懸念される。

サービス業、卸売業、小売業においては売上げが減少している中で、衛生対策及び感染予防対策等のための経費が増大しているとの意見も寄せられている。